

# 令和5年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	3 学年 必修	教科	公 民	科目	政治・経済	単位数	2 単位
教科書	最新 政治・経済 新訂版 (実教出版)			使用教材	最新 政治・経済資料集 2022 新版 (第一学習社)		
授業 担当者名	末次 紳一郎・丸山 雅代						

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第1編 現代の政治 1章 現代国家と民主政治 1. 民主政治の成立と基本原理 2. 民主政治のしくみと課題 3. 世界のおもな政治制度 2章 日本国憲法と基本的人権 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本原理 3. 自由権 4. 平等権 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりりと公共の福祉	・民主政治の成立と法の支配などの基本原理を、歴史的な流れのなかで理解させる。 ・権力分立の必要性和立憲主義について理解させる。 ・諸外国の主な政治制度と日本との違いを考察させる。 ・明治憲法と日本国憲法の主な相違点を考察させる。 ・日本国憲法の三大基本原理と、そこから憲法が目指そうとしていることを考察させる。 ・おもな基本的人権の内容について実例を示し、自らの生活と関連させながら、学びを深めさせる。 ・社会権成立の背景と意義を考えさせる。 ・「新しい人権」登場の背景と、憲法上の根拠を考える。 ・「公共の福祉」の概念を理解させる。	16
	期末 考 査	3章 日本の政治制度と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 内閣と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加 5章 日本の平和主義と国際平和 1. 平和主義と自衛隊 2. 日米安全保障体制の変化 3. 21世紀の平和主義	・国会の地位と役割、構成と権限などを理解させる。 ・内閣・内閣総理大臣の地位と権限、議院内閣制のしくみや行政権の拡大・官僚政治に関して理解させる。 ・基本的な司法制度の知識・理解を深めさせる。 ・地方自治のしくみと課題について理解させる。 ・政党政治の流れや課題について考察させる。 ・基本的な選挙制度の知識を深めさせる。 ・世論形成の重要性和政治的無関心の危険性を理解させ、自らの政治へのかかわり方について考察させる。 ・平和主義の意義を理解させる。 ・平和主義との関係において、日本および国際社会の安全保障体制について考察させる。	16
二 学 期	中間 考 査	第2編 現代の経済 2章 現代経済のしくみ 1. 経済主体と市場の働き 2. 企業の役割 3. 国民所得 4. 経済成長と国民の福祉 5. 金融の役割 6. 日本銀行の役割 7. 財政の役割と租税 8. 日本の財政の課題	・3つの経済主体と市場のしくみを理解させ、資本主義経済の下での経済活動の概要を理解させる。 ・企業の特徴・役割と企業の社会的責任を考察させる。 ・GDPや国民所得などの指標について理解させる。 ・経済成長の意味を考えさせるとともに、物価や景気の変動がなぜ生じるのかを考察させる。 ・金融の役割と信用創造などのしくみについて理解させる。 ・中央銀行の働きと通貨制度について理解させる。 ・財政の機能と公平な税負担について考察させる。 ・こんにちの税制改革の動向を整理させる。	17
	期末 考 査	3章 現代の日本経済と福祉の向上 1. 戦後復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 転機にたつ日本経済 7. 労働問題と労働者の権利 8. こんにちの労働問題 (第3編 4. 雇用と労働をめぐる問題) 9. 社会保障の役割 (第3編 5. 少子高齢社会と社会保障) 第1章 経済社会の変容 1. 資本主義の成立と発展 2. 現代の資本主義	・戦後復興から高度経済成長への流れを把握させる。 ・石油危機からバブル崩壊までの流れを把握させる。 ・バブル崩壊後の長期不況に、政府や日銀がどのように対処したかを理解させる。 ・労働基本権について理解させ、こんにちの労働環境の課題について考察させる。 ・非正規雇用増加の影響について考察させる。 ・日本の社会保障制度の現状と課題を理解させる。 ・少子高齢化の社会保障制度への影響を理解させる。 ・資本主義経済の成立と特徴について理解させる。 ・現代の資本主義と経済のグローバリゼーションの課題を考察させる。	17
三学期		一年間の総まとめ	・一年間の指導内容の定着をはかる。	4
時数合計				70

評価の 観点・方法	・評価の観点；現代の政治・経済に興味を持ち、主体的に判断する能力があるか。 ・評価の方法；授業における学習態度、課題、定期考査等によって総合的に判断する。
--------------	--